

令和7年度第2回公立大学法人福知山公立大学経営審議会 議事録

日 時：令和7年11月26日（水）13時00分から15時00分まで

場 所：福知山公立大学4号館4階会議室

出席者：

（委員）川添信介委員、西田豊明委員、倉田良樹委員、辻直人委員、足立正委員、
石原俊彦委員、寒竹聖一委員、小林加奈子委員、嵯峨根正和委員、田村雅之委員
（事務局）荻野美代子、大江伸哉、小原淳史、竹元啓、杉本貴円

会議概要

<定足数>

定款第18条第4項により成立した。

<議長>

定款第18条第3項により川添理事長が議長となった。

<確認事項>

前回の議事録（案）について確認を行い、原案どおり承認された。

<審議事項>

1号議案 令和8年度予算編成方針について

令和8年度予算編成方針〔審議1〕について審議を行い、原案どおり承認された。

<主な意見>

- ・ 食堂のネーミングライツパートナーが決まり、今後は施設整備も予定しているので、目玉となるメニュー開発などにより一般の方にも多く利用される食堂になることを期待する。
- ・ 卒業生と深い関係を築ける職員を育成する発想が必要である。福知山市のふるさと納税など一般的な寄附を待つだけでなく、自ら寄附者を探して誘導するなど、卒業生の思いを資金化するスキルが求められる。
- ・ 同窓会組織の立ち上げによる寄付金収入も将来の安定的な学校運営の大きな柱の一つとして位置づけ、体制をつくっていくことが必要である。
- ・ 福知山市は企業版ふるさと納税に着目し、企業に対して魅力的な事業の紹介や支援の依頼が行われている。企業側には税制上の優遇やPR効果もあり、特に新しい取り組みはセールスポイントとなるため、大学と連携して取り組んでほしい。
- ・ 大学が無料で実施しているセミナーについては、委託事業化し、事業費収入を得ることを検討されたい。
- ・ 公立大学が収益を生み出す手段として、特定大学技術移転事業者（TLO）に出資する方法があり、理工系分野の教員が多い大学にとっては大きな機会となり得る。

2号議案 公立大学法人福知山公立大学専任職員及び嘱託職員の給与改正について

公立大学法人福知山公立大学専任職員及び嘱託職員の給与改正〔審議2〕について審議を行い、原案どおり承認された。

<主な意見>

- ・ 基本給を大幅に増額すれば退職金の算定基礎が増えるため、慎重に検討すべきである。
- ・ 退職金規程だけでなく、退職金の積み立てに関する規程についてもレビューを行ったうえで適切に整備すべきである。

3号議案 社会保険料立替分の債権放棄について

社会保険料立替分の債権放棄〔審議3〕について審議を行い、原案どおり承認された。

<主な意見>

- ・ 大学への損害や立替金などが発生した場合には退職金で清算する旨の誓約書を教職員の入職時に取得することは一つの方法として考えられる。

<報告事項>

(1) 資金運用方針及び資金運用の計画等の策定に関する報告について

資金運用方針及び資金運用の計画等の策定に関する報告〔報告1〕について報告があった。

(2) 近況報告

近況〔報告2〕について報告があった。

<主な意見>

- ・ 大学院では入学定員20名を確保できる見込みであり、学問分野で他大学と差別化できる特徴を示すことが重要である。高校生に訴求しやすいテーマで地域貢献の成果が得られれば大学にとって大きなリソースになる。

(3) 令和6事業年度に係る公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果について

令和6事業年度に係る公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果〔報告3〕について報告があった。

(4) 令和6年度公立大学法人福知山公立大学財務諸表の承認について

令和6年度公立大学法人福知山公立大学財務諸表の承認〔報告4〕について報告があった。

(5) 令和7年度年度計画の進捗状況について

令和7年度年度計画の進捗状況〔報告5〕について報告があった。

(6) 大学・高専成長分野転換支援基金助成金の交付決定について

大学・高専成長分野転換支援基金助成金の交付決定〔報告6〕について報告があった。

(7) 不動産（土地・建物）の取得について

不動産（土地・建物）の取得〔報告7〕について報告があった。

(8) 規程の改正

規程の制定・改正[報告8-1]～[報告8-2]について報告があった。

<主な意見>

- ・ 懲戒規程には不服申し立ての規定はあるが、弁明の機会を設ける条項が存在しないため見直す必要がある。